



建築技術性能証明書

技術名称：スクリー・プレス工法
ー柱状砕石補強体を用いた地盤補強工法ー

申込者：株式会社グランテック 代表取締役社長 安部 俊彦
富山県高岡市石瀬 920
株式会社コンステック 代表取締役社長 中村 洋行
大阪府大阪市中央区北浜東 4 番 3 3 号

技術概要：本技術は、専用施工機によって軟弱地盤を柱状に掘削し、この掘削孔に砕石を締固めながら充填して柱状の砕石補強体を築造することで、この補強体と原地盤の支持力を複合させて利用する地盤改良工法である。

開発趣旨：本技術は、環境への配慮と施工性の向上を目的として開発したもので、補強体材料として自然砕石を用いるとともに、専用施工機を用いて狭小地においても施工可能な工法としている。さらに、本技術では、独自開発のスクリードリルを回転貫入することによる排土量の低減と、一定量の砕石に所定の荷重を与えて転圧することで安定した品質の砕石補強体を築造することが可能である。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。なお、本証明の有効期間は、平成 31 年 9 月末日までとする。

平成 28 年 9 月 28 日

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文 三



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料および施工試験の立会確認により性能証明を行った。

資料 1：スクリー・プレス工法 性能証明のための説明資料

資料 2：スクリー・プレス工法 設計・施工マニュアル

資料 3：試験資料

資料 1 には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本技術の設計・施工マニュアルであり、適用範囲、使用材料、設計方法、施工手順などが示されている。

資料 3 には、資料 1 で用いた個々の載荷試験結果報告書や立会施工試験報告書などが取りまとめられている。

証明内容：本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「スクリー・プレス工法 設計施工マニュアル」に基づいて施工された柱状砕石補強体を用いた補強地盤の長期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同マニュアルに定めるスウェーデン式サウンディング試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。